



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/3 (2/24との比較)	3/3 (2/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
日本 	A+	0.08% (+0.01)	/	+1.7% 2016年4Q	-	発表された経済指標のうち、法人企業統計とCPIが堅調な結果となるも、反応は限定的。10年債利回りを控えていたことで、国債利回りは小幅上昇。	30年債入札と5年債入札が予定されているものの、日銀が国債買入れの実施日を事前に公表したことで波乱のない展開が予想され、レンジ圏内での推移を見込む。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.48% (+0.17)	114.04円 (+1.71%)	+1.9% 2016年4Q	0.75%	トランプ大統領の議会演説が好感され、またイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長やFRB高官らの利上げに対するタカ派的発言が相次ぎ、3月の利上げを織り込む展開。米ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	3月中旬にFOMC（米連邦公開市場委員会）や予算教書の公表など多くのイベントを控えており、債券・為替市場ともに様子見の展開が予想される一方、各イベントの結果次第では上下に大きく振られる展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.36% (+0.17)	121.13円 (+2.27%)	+1.7% 2016年4Q	0.00%	フランス大統領選挙において、フィヨン候補の選挙戦撤退否定報道により、ルペン候補の勝利確率が低下したことで市場に安心感が広がった。米国債利回りの上昇も影響し、国債利回りは上昇。ユーロは対円で上昇。	ギリシャ支援についての動向も注目される中、引き続きフランス、オランダやイタリアなど各国の政治動向が注目される。また、米国の政策動向からも影響を受ける環境が持続するとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/3 (2/24との比較)	3/3 (2/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.70% (+0.10)	85.28円 (▲0.42%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	中銀は政策金利を据え置き。経済全体ではなお弛みが残っているとの見解を表明。金融緩和を継続する姿勢が示され、カナダドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	発表されたGDP（国内総生産）が前月比でプラスになるなど、景気は安定した推移。こうした動きが経済の様々な分野に広がるかが注目される。企業景況感指数、貿易収支、失業率などの経済指標が発表される予定。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
オーストラリア 	AAA	2.81% (+0.08)	86.62円 (+0.64%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	GDP（国内総生産）は市場予想を上回る。貿易収支は黒字幅が縮小するも3カ月連続の黒字を記録するなど、経済指標は総じて好調。オーストラリアドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	資源価格の上昇を受けて経済指標は上向いているものの、インフレ率が安定しているため、中銀に金融政策変更を急ぐ姿勢は見られず。7日の中銀理事会では、政策金利が1.5%で据え置かれる見込み。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.31% (+0.08)	80.16円 (▲0.72%)	+3.5% 2016年3Q	1.75%	移民流入数が増加した一方、貿易赤字が拡大し、企業景況感指数は低下するなど経済指標はまちまち。中銀総裁が通貨の高止まりがリスクであると発言したことを受けてニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	隔週の乳製品入札を予定。ニュージーランド国内の乳製品市況は直近大きく下落しており、落札価格も下落する見込みであり、ニュージーランド景気が頭打ちになるとの見方が出やすい環境。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.82% (+0.15)	13.53円 (+0.89%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	製造業PMIは改善し、小売売上高は前月比でプラスを回復、失業率も改善するなど、経済指標は軒並み良好。景気が緩やかな改善傾向を辿っていることを確認。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	景気は回復局面にあるものの、そのペースは緩慢とみられ、当面は利上げが展望されない状況。CPIなどが発表されるほか、中銀による企業調査の発表を予定。今後の生産について企業の見方が上向いているかどうか注目。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/3 (2/24との比較)	3/3 (2/24との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	9.97% (▲0.08)	36.60円 (+1.55%)	-2.9% 2016年3Q	12.25%	中銀は金融政策決定会合の議事録を発表。物価見通しや経済動向次第で更なる利下げ幅の拡大を示唆。中銀の緩和的な姿勢を受けて、国債利回りは低下。レアルは対米ドルで下落、対円では上昇。	GDP (国内総生産) や鉱工業生産などの発表を予定。国内では改革が進むものの、当期はマイナス成長が継続する見通し。改革への期待が下支えし、債券・為替市場は堅調な展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	7.91% (▲0.01)	8.75円 (+1.03%)	+0.7% 2016年3Q	7.00%	輸送機器・備品の輸出が大きく減少したことを受けて、貿易収支は大幅な赤字。収支の悪化を受けて、ランドは対米ドルで下落、対円では上昇。国債利回りは小幅低下。	GDP (国内総生産) などの発表を予定。政府による2017年の穀物収穫量予想は対前年比で回復の見通し。農業部門の改善が成長を下支えする可能性。政治リスクの残存から債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	→ 金利横ばい	↓	↓ 景気鈍化	↑ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.26% (▲0.01)	0.85円 (+1.31%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	製造業PMIは前月から下落するも、前年比のインフレ率は交通費や住宅関連費の上昇を背景に伸び率が加速。海外からの投資資金の流入により、国債利回りは小幅低下。ルピアは対円で上昇。	外貨準備や消費者信頼感指数などの発表を予定。インフレ上昇圧力により、利下げへの期待が後退するも、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気安定	→ 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.83% (+0.00)	1.71円 (+1.67%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	GDP (国内総生産) は市場予想を上回る結果。発表内容からは高額紙幣廃止の影響は確認できず。国債利回りはほぼ横ばい。インドルピーは対円で上昇。	GST (物品・サービス税) に関する審議は一部原案が審議会で承認、残りは次回に持ち越し。財務相は7月の導入に意欲を示した。市場は債券・為替ともに底堅い推移を予想。鉱工業生産などの発表を予定。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示 (ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高(円安)を上向き、現地通貨安(円高)を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

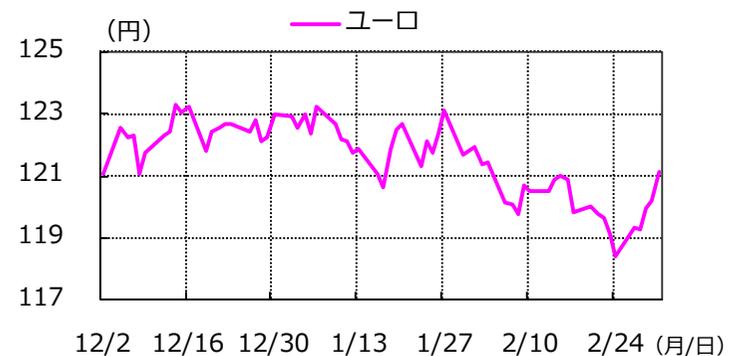
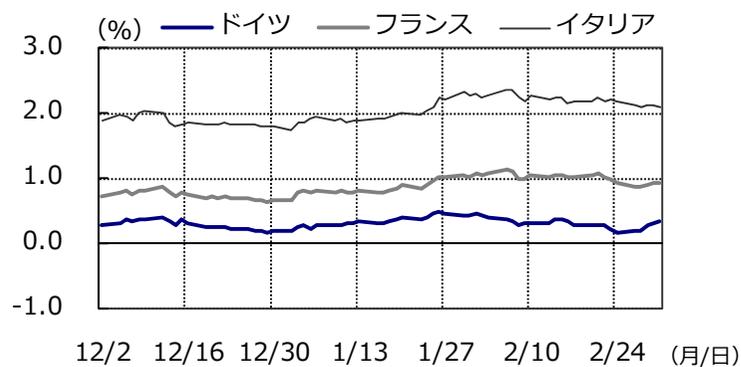
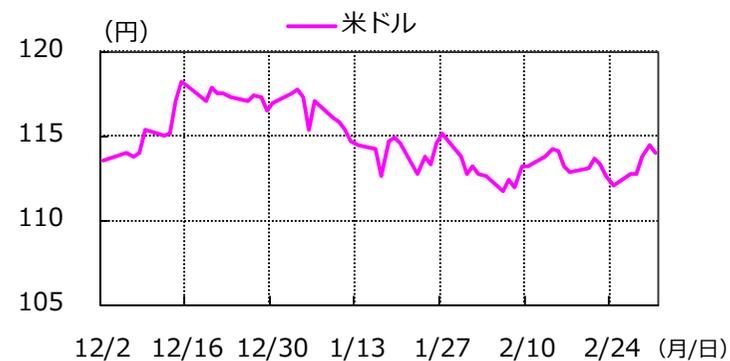
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/3 (2/24との比較) 今後の見通し (※4)	3/3 (2/24との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
メキシコ 	A	7.16% (+0.11)	5.84円 (+3.78%)	+2.4% 2016年4Q	6.25%	メキシコ中銀がFRB（米連邦準備制度理事会）にスワップライン設定の要請を検討しているとの報道などを背景に、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは上昇。	インフレ統計などの発表を予定。メキシコ中銀のインフレ目標値を上回るかが注目。3月中旬にFOMC（米連邦公開市場委員会）を控え、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	11.40% (+0.41)	30.81円 (▲0.36%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	CPIが市場予想を上回る上昇を見せたことなどから、国債利回りは上昇。リラは対米ドル、対円ともに下落。	鉱工業生産などの発表を予定。4月に予定される大統領権限強化の是非を問う国民投票に向けて、政治的な緊張感が高まりやすいことから、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
中国 	AA-	4.18% (▲0.01)	16.58円 (+1.45%)	+6.8% 2016年4Q	4.35%	製造業PMIは統計局発表分・民間発表分ともに上昇し、総じて堅調な内容。景気が改善する中、追加金融引き締めへの警戒感が強まり、国債利回りは小幅低下。香港市場の人民元は対円で上昇。	貿易収支やインフレ統計などの発表を予定。石炭・鉄鉱石などの商品価格が回復する中、インフレの動向に注目。国内景気が底堅く推移する中、インフレ上昇が加速すれば、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。
	Aa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/2～2017/3/3



※10年国債利回りを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

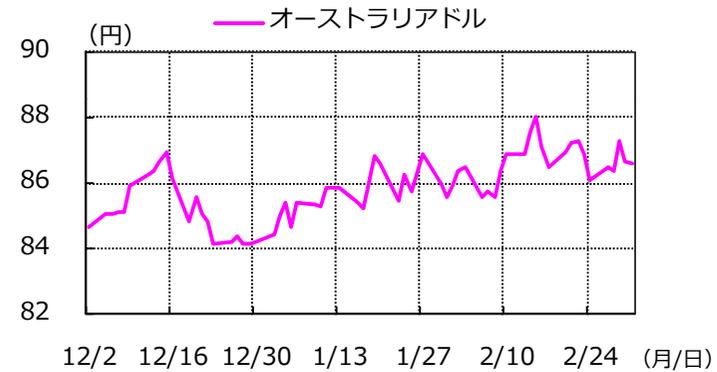
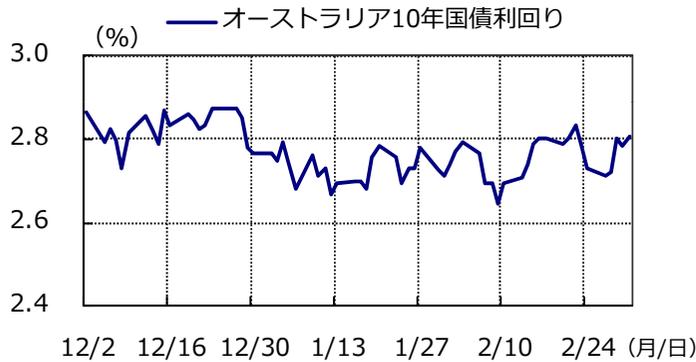
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/2～2017/3/3

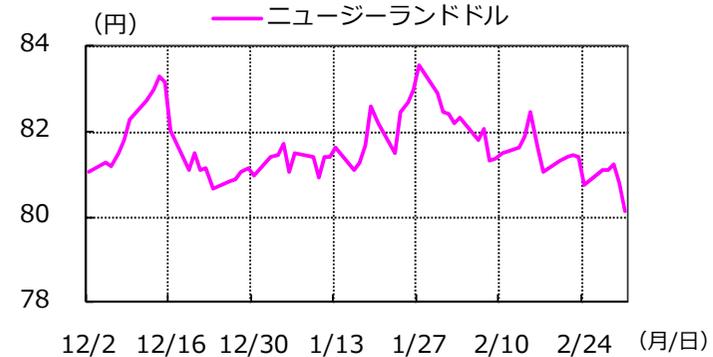
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

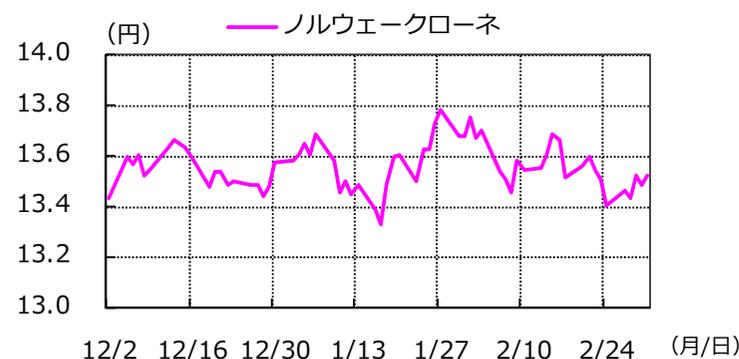


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

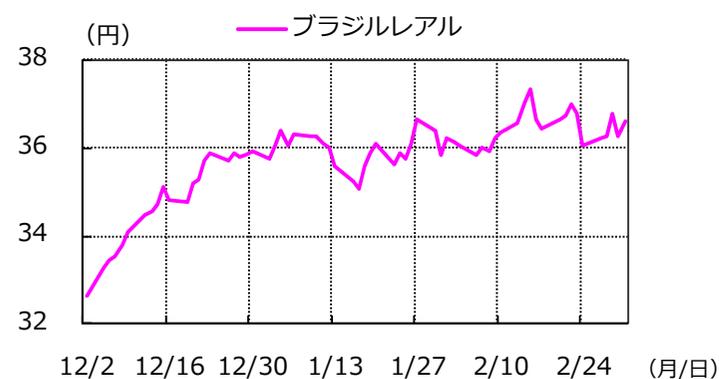
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/2～2017/3/3

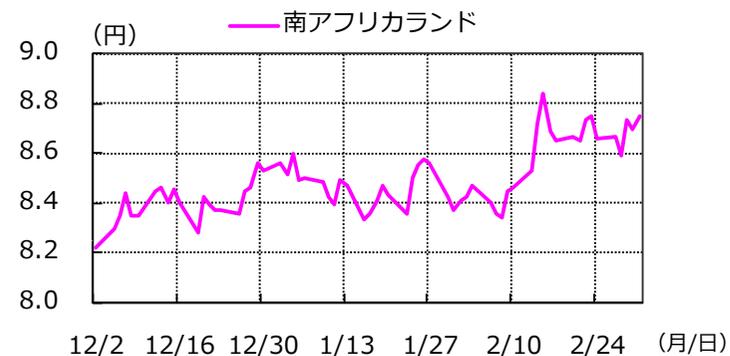
ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

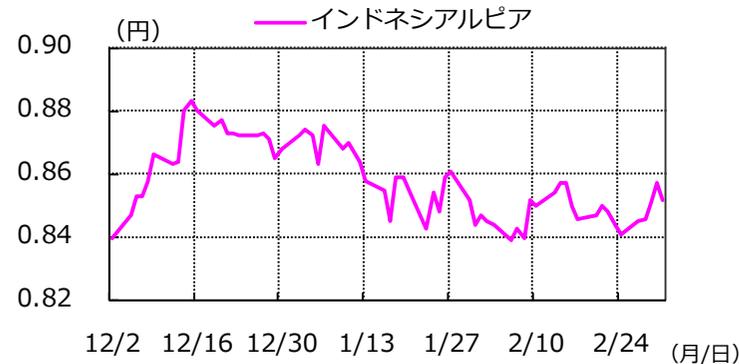
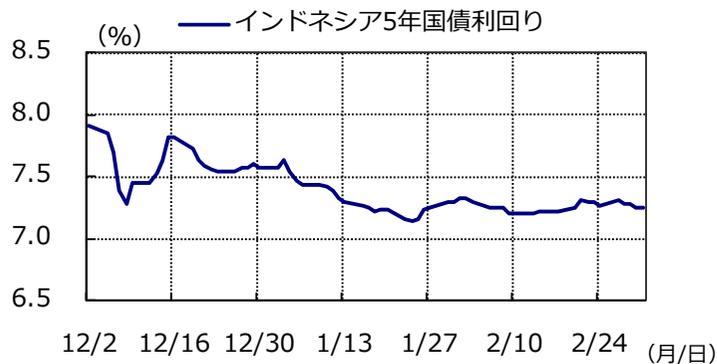


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

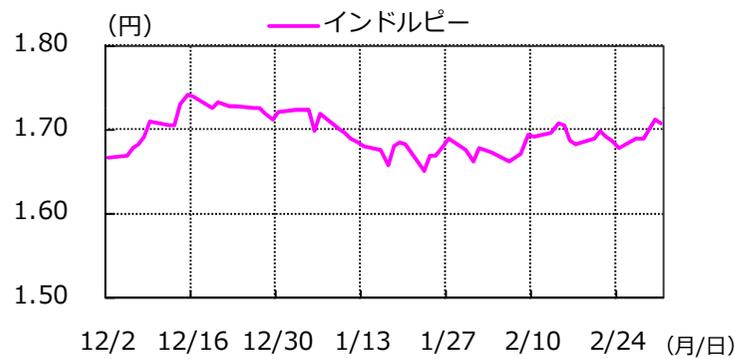
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/2～2017/3/3

インドネシア



インド



メキシコ



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/2～2017/3/3

トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。

※香港市場における人民幣の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。